文芸欄

俳句

宝愛句らぶ（中央区）
秋の旅夕暮れ早き木曽路かな　和子
通勤のペタルも軽し紅葉晴れ　悦子
六甲の山夕紅葉かがやけり　千枝子
野に山に秋の七草郷遠し　道子
ウォーキングどんぐり見付け足止まる　恵子
激動の昭和世代よ木の実落つ　丘
天ぷらの紅葉喰らいて滝道へ　和志
草叢の虫の競演秋の夜　啓臣

梅の美会（兵庫区）
カンカンと一番電車そぞろ寒　山口茂子
秋風に黒猫ゆったりみぎひだり　岡田富早恵
天高し逆さ橋立龍となる　粟野富江
濁り湯につかりて一句秋夜かな　山田朝子
木の実ころころと老の閑　藤井歌子

青葉クラブ（北区）
遠くなる昭和の話題秋惜しむ　馬場みつえ
金木犀掃き集む朝町静か　前川弘子
先を行く同行二人息白し　山本恒雄

高原ささゆり会（北区）
秋夕映え空燃ゆ山燃ゆ海燃ゆる　南久美子
令和にも筆も馴染んで年新た　若林節子
公家殿の恋の歌留多を探しけり　てる子
冷まじき朝の稜線朱を孕み　松村二三枝
廃線の駅舎のベンチ夕花野　山下久一

ひまわり句会（北区）
賑わいの戻りし村の秋祭り　辻寿賀子
朝は白昼はピンクの酔芙蓉　石井敏子

ひよどり台句会（北区）
バッタ飛び交うリハビリの杖の先　塩見光子
秋夕焼パステルカラーの瀬戸の海　田中弘子

国生みの瀬をかけぬけし秋時雨　筒井豊子
月下美人清し香りも七時間　中井光子
店終ひ貼紙数多そぞろ寒　矢谷登美子

北斗句会（北区）
大戦と大患くぐりし生身魂　金行隆
旬の物一皿で足る今年酒　久松礼子
秋深しけつねうろんの出前とる　増田嗣夫
菊人形厳流島の果し合い　岸下庄二
登り窯すたれて久し草の花　脇坂有多子
むかご採る一合飯に足らぬ量　松本洋子
動の阿波静の八尾の風の盆　黒田久江
危うさを纏う真昼の鳳仙花　秋山弘之
空蝉の主いずこではてたやら　小段安徳

見山台新樹会（北区）
幼子の笑顔はじける秋夕焼　松隈弘子
シニアクラブ窓開け眺む秋の虹　佐溝満喜子
道すがら少し気になるあけびの実　丸尾嘉子
夕日浴び見て見てと紅葉かな　高石勝行
暖かし仲間集いて談笑し　藤田和夫
稲わらを冬菜にきせて農事終ゆ　夏永弘子
冬の月廃校の屋根芸青し　石本宏一

福寿草句会（須磨区）
虫の音に耳をあづけて眠りけり　上原綾子
誘ふ声応ふる声や虫の闇　松下修二郎
満月や九十一年生き抜いて　岩田美代子
輪にならぬ小さな町の盆踊　林慎一

多聞台ときわ会文芸部（垂水区）
天高く老いらくの恋貫らぬかん　木村敏博

桃山台クラブ文芸部（垂水区）
両家族引き連れ詣でる七五三　高石勝行
半袖を咎める風や夕散歩　藤田和夫

きらく句会（西区）
金木犀白杖の足止めさせる　田畑美恵子
干し柿の並ぶテラスに夕日さす　大上昭敏
爪塗つて饒舌になる秋の声　喜田弘征
佇めば人も寄り来る吾亦紅　阪本道子
秋深し初雲海の竹田城　田野育利
星隠れ闇流れ来て鍋支度　森本珠実

◆個人
省エネで見事湯たんぽ返り咲き　大橋治子
野天の湯方言あふる夜長かな　尾上正紀
紅葉狩嵯峨嵐山千の美止　（東）北田建樹
障子貼る孫指につばつけ外を見る　（灘）都倉知子
青空や赤唐辛子天迎ぐ　（灘）福井悦子
病窓へ上がつてきたる虫時雨　（灘）山上幸子
京町の湯葉の吸物菊日和　（北）山田キミ子
展望台初冬のふる里眼下の景　（須）高橋純子
病む指の手折る一枝金せん花　（須）福本和恵
お月さま晩秋の夜空照らす　（垂）藤田恵子
紅葉のトンネル深き夢心地　（垂）山田としゑ
　（西）芝田律子
　（西）濵頭ミノル

川柳

桂木ひふみ会（北区）
AIに取捨選択は任せます　荒木宗Q
色めがね捨ててしまえば素が見える　京念久美子
夕焼けが燃え盛るさま空気澄み　笹岡淑子
夕日が沈む今日も一日ありがとう　杉尾悦子
ネットカフェ心のうさの捨てどころ　大和ケント

筑栄会（北区）
微笑みがなぜか気になるくせの人　かほう
くせはなしなくてなくせうそをつき　よし
練習は良いくせつけて天才に！　三茶
クマが出た疲れて眼の下隈が出た　あきら
居てくれるただそれだけの母でいい　まさこ
虫達は花の蜜すい恋となる　まり子

◆個人
行く所することある人いい笑顔　（東）辻本美佳子
小言ばあさんは逃げるが勝ちと夫言い　（東）早川キミエ
大手術三途の川で帰えされた　（東）増田芳之
炎天と腰痛持ちで手抜きなり　（北）植田きみ子
仕舞い事田畑売りたし買い手無し　（北）北野利一
お年玉あげるつもりがもらう人　（北）宮内美栄子
秋色に天を染めてる金木犀　（垂）小髙肇

短歌

花山短歌会（北区）
小春日のしっかりしたる光合成青ネギ摘みて納豆ごはん
スーパーに売られし西瓜カットされがぶりと食べた昭和の夏よ
稲刈りの終わるやいなや雀たち田んぼめがけて右往左往と
恒例のファッションショウは無事終るつくり置く未発表の服を着て
道の落葉だれが掃きしか取り去られ土に草芽の僅かに見ゆる
オリオンの覗く軒下濯ぎたるシャツ掛けるとき秋も深まる

船崎めり子　清水恵子　儀元カヨ子　山田加壽代　木下いく子　古林保子

◆個人
紫のつぶらなる実や古を誘ふ雅の歌人よ二夜の月よ　（灘）上田節子
炎天に夏草しげりセミの声赤きサルビア猛々しくて　（北）箱守喜久子
我の背とコスモスの花とせいくらべ写真パチパチ幸せとどけ　（北）眞木香代子
夕闇の空に消えゆく国際便姪の家族は異国へ転居　（須）江口啓子
曇り日の山のいずべかくぐみ鳴く山鳩の声静寂にわたる　（垂）堀江千生子
赤い羽根金木犀の香りのせ助けあう心拡がれ福祉　（西）吉野洋子
蜜の香の怪しく誘ふ草むらに見つける一点くずの紅　（西）増田當代
わけありと書かれしりんごひと盛の蜜を含みて甘きに笑まう　（西）松浦妙子

とっておきの作品

【中央区】相川寿会　高橋洋子

「たつ年」
【北区】塩田福寿会　北野利一

あとがき

新年が始まり、辰年の幕開けです。今後も広報紙を通して各地区や単位クラブの活動を紹介していきますので、日頃の活動の参考になれば幸いです。辰年は、新たな飛躍の象徴です。皆様にとって、2024年が素晴らしい一年となりますように、これからも健康長寿を目指してともに頑張りましょう。

令和6年度 神戸市シルバーカレッジ学生募集

◎願書受付期間
令和6年1月15日(月)～1月26日(金)【必着】

◎願書配布
区役所、区文化センターなどで配布（無料）

◎募集コース
健康ライフ、国際交流・協力、ECOライフ各コース
総合芸術コース（美術・工芸、音楽文化、園芸、食文化各専攻）

※学校説明会を1月15日(月)～1月19日(金)に開催します。(事前申込制)

※詳しくはホームページまたは学生募集案内（願書）をご覧ください。お問い合わせは事務局まで

神戸市シルバーカレッジ事務局
神戸市北区しあわせの村1番16号
Tel 078-743-8100　http://kobe-sc.org